# LIVING AS FORM (THE NOMADIC VERSION)

20 Years of Socially Engaged Art



















特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター

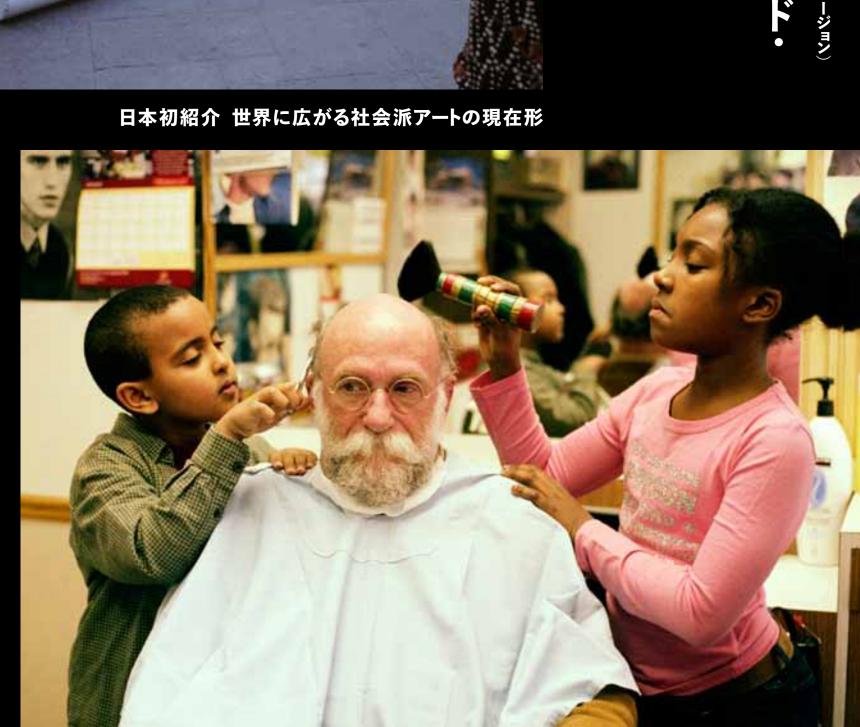
ロホアンヌルノリンド工房 [お問い合わせ] 特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター email: info@art-society.com website: http://www.art-society.com/

[オリジナルの「リビング・アズ・フォーム」への主要支援団体] アネンバーグ財団/リリー・オーキンクロス財団/デンマーク領事館/ アンドリュー・W・メロン財団/モンドリアン財団/全米芸術基金/ ロックフェラー兄弟基金

[ノマディック・バージョンへの支援団体] ホレス W. ゴールドスミス財団/アンディ・ウォーホル美術財団/ ロバート・スターリング・クラーク財団/ICI評議員会







トという潮流

·年11月15日(土) -

-28日(金)

## リビング・アズ・フォーム(ノマディック・バージョン)

## ソーシャリー・エンゲイジド・アートという潮流

2014年11月15日(土) - 28日(金) 12時 - 19時(最終日は16時まで) アーツ千代田3331 B104室

本展覧会は、日本でこれまでほとんど知られることがなかった海外のソーシャリー・エンゲイジ ド・アート(Socially Engaged Art)を紹介する初の試みです。

本展は、ニューヨーク市を拠点として過去40年にわたって、社会と関わるアート活動をプロ デュースしてきたNPO「クリエイティブ・タイム(Creative Time) | が、2011年秋に、世界のソーシャ リー・エンゲイジド・アートをテーマに、Nato Thompson氏のキュレーションによってニューヨーク 市で開催した画期的な展覧会「リビング・アズ・フォーム(Living as Form)」の巡回展(縮小版)で、 東京が世界最後の開催地になります。

芸術文化と社会との関係性を考えるNPO法人アート&ソサイエティ研究センターは、ソーシャ リー・エンゲイジド・アートという活動が、いま世界で一つの潮流となっていることを、広く日本 の人びとに伝えたいと考え、オリジナル展で紹介されたプロジェクトから代表的な11例を 選び、動画やパネル展示等により紹介します。

ソーシャリー・エンゲイジド・アートは、アートワールドの閉じた領域 から脱して、現実の世界に関わり、人びとの日常から既存の社会制 度まで、何らかの"変革"をめざすアーティストたちの活動を総称す るもので、参加・対話のプロセスを含む、アクティブで多様な表現 活動です。このタイプのアートは1990年代初頭から米国を中心とし て活発化し、現在では世界中に拡大しています。

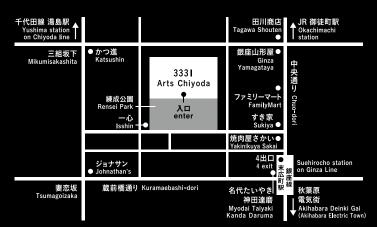
一方、日本でも2000年以降、主に地方都市や農山漁村地域など で、地域の再生や活性化を目的とした「アートプロジェクト」が活 発に行われています。しかし、その言葉の定義はあいまいで、アー ティストの社会的役割やアートワークとしての意味や価値について の深い議論もなされないまま、地域の絆づくりやツーリズム促進 のツールとなっている事例が数多く見られます。本展覧会は、そう

いった現状に対し、いま世界各地で実践されているソーシャリー・エ ンゲイジド・アートを紹介することで、日本のアートプロジェクトをめ ぐる議論を活発化し、改めてその社会的意味や方法論を考えるきっ かけになることを意図して開催いたします。

ソーシャリー・エンゲイジド・アートは、都市計画や福祉、教育、さま ざまなコミュニティ活動や政治運動を美術や演劇といった創造的、 象徴的な表現と結びつけ、これまで見えなかったものを可視化した り、気づかなかった価値を明らかにすることによって社会に現実的 な変化をもたらそうとする、ハイブリッドで分野横断的な試みだとい えます。本展覧会が、こうした社会的実践としてのソーシャリー・エ ンゲイジド・アートのチャレンジ・パワーを理解していただく機会とな れば幸いです。

①プロジェクト計画公募「日本におけるソーシャリー・エンゲイジド・アートとは?」 地域や社会の具体的な課題に取り組むアート・プロジェクトを公募(実現の可能性は問いません) ②①の応募計画を次々に発表するプレゼンテーション・マラソンとそれを総評する トークイベントを開催(2015年3月予定)※詳細は、展覧会に合わせて発表します。

関連企画



〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14 3331 Arts Chiyoda (アーツ千代田3331) B104室

ママリアン・ダイビング・リフレックス

美容師から講習を受けた10歳~12歳の子どもたちが、

大人たちに無料のヘアカットサービスを提供するプロ ジェクト。子どもたちに、創造的な決定のできる個人として

の、責任と自信を持たせることを目的としている。

**Mammalian Diving Reflex** 

子どもたちによるヘアカット

トロント(カナダ)他

東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分 東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分 都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分 .IR御徒町駅南口より徒歩7分 .IR秋葉原駅電気街口より徒歩8分

2006~

### [クリエイティブ・タイム Creative Time]

<u>1973年にニューヨーク</u>市で設立された非営利芸術団体。 都市の公共空間を舞台に、アーティストのチャレンジングな創造活動をプロデュースしている。 テンポラリーなパブリック・アート・プロ ジェクトの他、展覧会、シンポジウム、出版事業なども積極的に展開。2009年からは、社会と関わるアートについて、アーティスト、建築家、都市計画家、社会活動家などが議論、交流する場と してCreative Time Summitを毎年開催している。http://creativetime.org

[インディペンデント・キュレーターズ・インターナショナル Independent Curators International (ICI) ]

1975年創立の非営利芸術団体。キュレーター、アーティスト、美術館、ギャラリーなどのネットワークキングを通じて、現代アートの展覧会やイベントの巡回版を世界各地で開催する活動を中心 に、新しいアートのインフラストラクチャー構築をめざしている。http://curatorsintl.org/

[アート&ソサイエティ研究センター Art & Society Research Center]

都市や地域における芸術文化活動並びにパブリックアートの情報発信及び調査研究・実施活動に関する事業を行い、都市や地域の文化的発展と市民の文化環境の向上に寄与することを目的と して活動する非営利芸術団体。www.art-society.com

## 参加アーティスト

テレルヴォ・カルレイネン&オリヴァー・コフタ=カルレイネン Tellervo Kalleinen and Oliver Kochta-Kalleinen 不平合唱団

2005~

カイロ(エジプト)他世界各地

自分たちの不平不満をオリジナルな楽曲に仕立て、リハーサル し、公共の場で歌うコミュニティ合唱団。2005年にフィンランド の2人のアーティストが考案したプロジェクトで、今では世界的 ネットワークに発展している。



### アローラ&カルザディラ

Jennifer Allora and Guillermo Calzadilla チョーク

1998~2006

リマ(ペルー) 他世界各地

公共広場に1.5メートルの巨大なチョークを置き、通行人 にそのかけらを使って、ドローイングから政治的な主張ま で自由に書いてもらうプロジェクト。リマの政府ビル前の 広場では、政府への憤懣や失望が多く書かれた。



アパルショップ/Appalshop

千の風 1998~

ケンタッキー州ホワイツバーグ

(アメリカ合衆国)

アパラチア地域で唯一人のヒップホップ・ラジオ司会者 が始めた、囚人とその家族のためのラジオ番組を中心と する対話プロジェクト。名称の由来は、刑務所用語でメッ セージを送ることを凧(kite)を投げるということから。



2008

リオ・デ・ジャネイロ(ブラジル)

リオ郊外の南アメリカ最大のゴミ捨て場で、まだ使えるモ ノを集める人々をモデルに、ゴミを素材とした巨大な肖像 画を制作。その様子を映画化し、ゴミと周縁的労働者の 問題をアーティスティックな視点から発信している。



スザンヌ・レイシー/Suzanne Lacy

屋上駐車場に結集した100台のクルマの中では、200人

の公立高校の生徒が、暴力、セクシュアリティ、ジェンダー、

人種問題などについて議論している。公開イベントだった

が、記録映像は全米で広くオンエアされた。

ルーフ・イズ・オン・ファイア

カリフォルニア州オークランド

1994

(アメリカ合衆国)

ドイツのカッセルドクメンタ12のため、1001人の中国人 を中国から連れてくることを計画。それを実行しその様子 を記録した作品。海外へ渡航するまでの困難なプロセス



ヴォッヘンクラウズール/WochenKlausur ホームレスのための医療バン 1993~

ウィーン(オーストリア)

オーストリアは国民皆保険の国だが、ホームレスには適用 されないことから、ホームレスに医療を無料で提供する クリニック・バンを考案。クルマと設備は民間の支援で、 医師の報酬は市からの助成金で運営している。



リック・ロウ/Rick Lowe プロジェクト・ロウ・ハウス

テキサス州ヒューストン(アメリカ合衆国)

展覧会「リビング・アズ・フォーム」で紹介したプロジェクトは、 以下のキュレーター、ライター、アーティスト、歴史家のグ ループが選考しました。Caron Atlas, Negar Azimi, Ron Bechet, Claire Bishop, Brett Bloom, Rashida Bumbray, Carolina Caycedo, Ana Paula Cohen, Common Room, Teddy Cruz, Sofía Hernández Chong Cuy, Gridthiya Gaweewong, Hou Hanru, Stephen Hobbs and Marcus Neustetter, Shannon Jackson. Maria Lind, Chus Martínez, Sina Najafi, Marion von Osten, Ted Purves, Raqs Media Collective, Gregory Sholette, SUPERFLEX, Christine Tohme, Bik Van der Pol, and Sue Bell Yank.

アフリカ系アメリカ人が主に住む街区で打ち棄てられて いた長屋を、アーティストが中心となってリノベーションし、 コミュニティ活性化につなげたプロジェクト。SEAによる地 域の持続的発展のモデルケースとして知られる。



## ウィメン・オン・ウェイブ/Women on Waves 中絶船プロジェクト

オランダ発世界各地

非合法で危険な妊娠中絶をなくし、女性の身体的、精神 的自律の権利を守ることを目的に、中絶が禁止されてい る国の港に、合法な手術のできる診療所を備えたオラン ダ船籍の船を停泊させ、メッセージを発信している。



## バスラマ/Basurama 廃棄物プロジェクト 2008~

中南米各地

バスラマは建築家やデザイナー、都市計画家によるグ ループ。市民との協働を通じ、古タイヤや自動車部品を 使って遊具を作るなど、廃棄物を利用してパブリックス ペースを再生するプロジェクトに取り組んでいる。



## ヴィック・ムニース/Vik Muniz ゴミ絵画

